

堀仲左衛門

安政大獄前中後篇掲出。【三、四、五、六、七、一九、二六、三三、三四、三六、三七、四七、五五】

【マ行】

マ

眞木彦之進

名は景嗣、水戸藩士傳衛門一栗の長子。武技を能くし槍法に長じ、天保中牀机廻となさる。弘化中齊昭の雪冤をばかり、爲に罪を得、嘉永の末年に至り前職に復す。後、小十人組、歩士目附、奥右筆等に移る。安政五年家を継ぎ馬廻組となり、普請奉行、矢倉奉行を歴て郡奉行に進む。元治甲子の役松平頼徳を奉じ、磯濱、磐船の壘を抜き、那珂港に入り、其他各地に轉戦し勇名を馳す。ついで古河藩に調せられ、慶應元年四月自刃

増子金八

を命ぜらる。大正四年正五位を贈らる。【二三】

水戸藩士。安政六七年の際勅諭奉に力を盡し、櫻田一舉に加はり、後江戸深川、會津地方に潜居し、やがて常陸に歸り明治十四年十月死。年六十。【七三、七四、七五、九八】

松平和泉守

彼理來航及其當時、神奈川條約締結、公武合體、安政條約締結、朝幕交渉篇、安政大獄前中篇掲出。【四、三九、四八、一〇四】

松平右近將監  
松平大隅守

松平武聰に同じ。【四三】  
名は親良、中務大輔と稱す。豊後杵築藩主。文政八年十二月生る。明治元年家を子親貴に譲り、同二十四年二月死。【七五、一〇四】

松平讃岐守

彼理來航及其當時、朝幕背離緒篇、井伊直弼執政時代、安政大獄前篇掲出。【八四】

松平修理大夫

出。【一七、二八、五八、八四】  
島津忠義また茂久に同じ。【二六、八〇】

松平武聰

石見濱田藩主。右近將監と稱す。徳川齊昭の十男、武成の後を承く。弘化四年十二月家を継ぎ、明治六年三月子武修に譲る。【四二、四三、四七】

松平主税頭

松平頼位と同じ。【四三】

松平伯耆守

安政大獄後篇掲出。【九六、九七】

松平慶永

幕府分解接近時代、孝明天皇初期世相、公武合體、朝幕背離緒篇、安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後篇掲出。【一〇一】

松平頼位

水戸支藩、世々宍戸に居る。頼位は文化四年十二月生れ、天保七年五月家を継ぎ、弘化三年九月隠居し、子頼徳に譲る。元治元年頼徳水戸藩亂の事に關與し、罪を幕府に得て自刃

松平頼胤

するや、再び家を承ぎ、明治十九年十二月死。【四三、五一】  
彼理來航及其當時、朝幕背離緒篇、安政大獄中篇掲出。【八四】

間部下總守

公武合體、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後篇掲出。【一五、一七、一八、二九、三一、三六、三八、三九、八四】

間部詮勝

下總守に同じ。【二、三、四、四〇】

三浦七兵衛

安政大獄前中後篇掲出。【二〇、三八、四〇】

三浦贊男

實名は忠昌、水戸藩士、藩主齊昭の命により贊男と名のる。父は平三郎忠道、文化中家を継ぎ、兒小姓、小納戸小姓頭取を経て、天保中奉行となり、後使番に轉ず。弘化中同志と主君の雪冤に盡力し、捕へて幽閉

せられ、後再び小納戸となる。安政の初め小姓頭取に移る。後持筒頭に班し、使番に轉じ小姓頭に復す。文久の末、用人に進み側用人を兼ね、京師に祇役す。尋で城附となる。元治甲子の際貶せられて寄合指引となり水戸に還り、ついで獄に投ぜられ、慶應元年十月死刑に處せらる。時に年六十。【二五、三三、五九、六五】

### 三木左太夫

初名之經、後、直と改む。水戸藩世臣なり。弘化元年十二月家を嗣ぎ、嘉永五年十二月小姓となる。安政六年有志を率ゐて江戸に出で大に運動する所あり公命により歸國謹慎す。勅諭返納問題の起るに當り大に激勵する所あり。文久三年藩主の朝覲に隨從す。ついで參政となる。元治元年松平頼徳の入城をばかり佐幕派と戦

### 水野越前守

ひ、後去りて京都に潜入し、居ること三年、維新の始め歸國して參政となり評定所に勤仕す。ついで廢藩置縣の際疑獄に坐し獄に在ること三年にして赦さる。晩年不遇にして明治三十九年十二月死。年七十二。大正七年從四位を贈らる。【六四】

### 水野忠精

文政天保時代藩以下、安政條約締結篇に至るまで各篇及び安政大獄前篇掲出。【一〇二】

### 水野忠央

忠邦の子。出羽山形藩主。和泉守、左近將監、大監物等と稱す。弘化二年九月家を繼ぎ、後寺社奉行となり、萬延元年十二月若年寄に任じ、文久二年三月老中勝手井外國掛りとなる。慶應二年九月家を子忠弘に譲り、明治十七年五月死。【一〇〇】

### 水野忠徳

時代、安政大獄前篇掲出。【六一】  
水戸筑後守に同じ。神奈川條約締結、日露英蘭條約締結、孝明天皇初期世相、公武合體、朝幕背離緒篇、安政條約締結篇、朝幕交渉篇掲出。【一〇三】

### 水野土佐守

水野忠央に同じ。【一七、二八、三七、六一、八四】

### 水戸中納言 水戸齊昭

慶篤に同じ。【三八、三九】  
幕府分解放近時代以下各篇掲出。【七、八、一三、一四、二〇、二四、二五、二六、三一、三二、四〇、四五、四八、五〇、五二、五六、五九、六三、六五、九六、九七、一〇一】

### 水戸慶篤

彼理來航以前の形勢、公武合體、朝幕交渉、井伊直弼執政時代、安政大獄前中後篇掲出。【一八、二一、二二、二三、二四、二五、三三、三八、四一、四二、四三、四四、四五、五〇、五一、六一、六三】

### 水戸光圀

徳川光圀に同じ。松平定信時代、雄藩篇、天保改革篇等掲出。【六、五三】

### 水戸頼房

安政大獄前篇掲出。【六、五三】

### 美濃部新藏

名は茂定、後に通稱を又五郎と改む。水戸の士又三郎茂政の子。弘化中主君齊昭の雪冤に盡力す。ついで目付となり江戸藩邸に祇役す。安政五年六年の際勅諭開達に奔走し、後小姓頭となる。常に長州藩士と交り國事の改復を期す。文久二年側用人に進む。元治元年四月田丸直允等の大平山に籠るや行きて之を慰撫せんとして成らず、市川弘美等勢を得るに及び職を擬ひ官舎に囚はれ、ついで獄に投ぜらる。翌年十月死罪。年四十七。【二一、三四、三五、三六、三九】

### 三輪友衛門

名は信善、水戸藩士、天保の初年床机廻に捕せられ、小普請組徒士目付を経て、奥右筆となる。弘化元年主君齊昭の雪冤に奔走し、爲に闘けられて小十人組となる。安政中小姓頭取となり、奥右筆頭取を兼ね。文久三年藩主慶篤に従つて上京し、ついで公弟昭訓の傳役となり、祿百五十石を賜はる。昭訓死後昭武の傳役となる。慶應三年昭武佛國に赴くに及び留りて京師を守護す。又徳川慶喜退京の際に代りて二條城を守る。十二月晦日二條城中に死す。大正四年従五位を贈らる。【六五】

ム

### 村田理介

名は正興、水戸藩士。始め馬廻組となり、大番組に移る。民治檢田の事

に功あり。郡奉行となる。こと十年、治績最も擧る。元治甲子の際義民を率ゐて異黨と戦ひ、後下總銚子に綱せられ、佐貫藩に移さる。慶應元年四月自刃を命ぜらる。年五十八。大正四年正五位を贈らる。【五一】

モ

### 森 五六郎

名は直長、水戸藩士直允の子。少より文武の技に達す。勅説返納問題の起るや長岡に出で有志と共に運動し、ついで櫻田の一舉に加はる。文久元年七月斬に處せらる。年二十三。【五三、六四、六九、七〇、七二、七三、七四、七五、八〇、九六、九八】

### 森山繁之介

水戸藩士五八の子。名は政徳、安政六年勅説返納の問題起るや同志と長岡に出で、後櫻田一舉に加はる。つ

### 【ヤ行】

ヤ

### 薬師寺筑前守

名は元眞、井伊直弼に結び側用取次となり、萬延元年閏三月免職し、ついで側役に補せられ、後間もなく退隠す。【一〇四】

### 矢野長九郎

安政大獄後篇掲出。【一二、三五、三六、三七、六四】

### 山縣半藏

安政大獄前後篇掲出。【四、五】

### 山口辰之介

名は正、水戸藩士、頼母正徳の四子。安政五六年の交勅説還奉に盡力し、同志と斬衰の計をなし、萬延元年三月櫻田の一舉に加はり、傷を得、龍之

近世日本國民史 人物概覽

### 山崎獵藏

口に至り自殺す。時に年二十九。明治三十五年正五位を贈らる。【六九、七〇、七二、七三、七四、七五、七九、八五】

名は恭禮、水戸藩の人、城下の細谷に生る。壯年にして郡吏となり民治に功あり。安政五六年の交勅説還奉に力を傾け同志の間に奔走し、遂に高橋多一郎の命を奉じ川崎健幹と西上し大阪に在り、丹波屋榮藏と名のり、商估を装ひ、薩藩有志と内通す。然れども幕府の内偵密にして七年三月廿三日捕へて投獄せられ、四月九日獄死す。時に年三十三。明治三十五年正五位を贈らる。【九二】

ヨ

### 吉田松陰

神奈川條約締結、孝明天皇初期世相、

安政條約締結、朝幕交渉、井伊直弼  
執政時代、安政大獄前中後篇掲出。

【二、五、一五、三四】

吉成恒次郎

安政大獄後篇掲出【五三】

吉村新三郎

名は彰施。水戸藩士。安政中勅諭遵  
奉を念とし、憤激して六年五月江戸  
小梅邸に自殺す【一六】

【ワ行】

ワ

脇坂淡路守

脇坂安宅に同じ。彼理來航以前の形  
勢、神奈川條約締結、日露英蘭條約  
締結、公武合體、朝幕交渉、安政大  
獄前篇掲出【八〇】

脇坂中務大輔

脇坂淡路守に同じ【三九、四八、一  
〇四】

綿引宇八郎

名は延方、水戸藩士。小十人目付と  
なる。安政中勅諭開達に盡力し、一

死以て志を明かにせんとし、六年五  
月四日江戸の藩邸に自殺す【一六】

索引

【ア行】

ア

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 秋田     | 二六〇                 |
| 淺草     | 二五九                 |
| 淺草龍泉寺町 | 三三三                 |
| 麻生     | 二五九                 |
| 麻布     | 二五九                 |
| 愛宕下    | 三四二                 |
| 愛宕山    | 三四一、三四三、三四五、三四八、三五九 |
| 會津地方   | 四六三                 |
| 近江路    | 四三八                 |
| 近江國彦根  | 一三                  |
| 雨引山    | 三二                  |
| 青山     | 二五九                 |

イ、ウ

|       |             |
|-------|-------------|
| 生魂明神  | 四二          |
| 石薬師   | 四〇九         |
| 伊勢大神宮 | 一三六         |
| 潮來    | 一〇三         |
| 板橋    | 二五九         |
| 泉町    | 二二七         |
| 稲田村   | 三一一         |
| 稻生宿   | 二四二         |
| 岩城    | 二五九         |
| 因州鳥取  | 一七          |
| 牛込    | 三〇一         |
| 宇都宮   | 三〇六         |
| 浦賀    | 三七六、三八一、三八二 |



小金驛……………六九、八六、九一、一〇四、一〇五  
 小金宿……………三五  
 小金町……………一〇〇  
 小鶴村……………七〇  
 小場村……………三二〇  
 駒込御殿……………三〇一  
 駒込邸……………四六、九一  
 駒籠邸……………六三、一〇一  
 紺屋町……………三二〇

【サ行】

サ

草加……………二五九、三二四、四六一  
 相馬……………二五九  
 佐久間町……………二五九、三二四、三二五  
 櫻田……………九一、八五、二七、二六三、三五九、三六〇、  
 三六一、三六六、四〇六、四一五、四三二  
 櫻田門……………四、五二、三五〇、三六六

櫻田門外……………三四八、三九三、四〇四、四四三  
 櫻井驛……………三二一  
 隆地……………二六  
 薩摩……………五九、一一、二四、三二、三三、四一、四四、八五、九〇、一六五  
 佐渡……………四六二  
 鮫洲……………八七、三四三、四〇〇  
 鮫洲村田屋……………八七  
 シ  
 尖倉……………一〇六  
 尖戸藩……………一九六  
 品川……………八七、二六七、三三〇、三四〇、三四一、三四五、三七二、四五七、四六〇  
 品川驛……………一六、一四九  
 十三峠……………四四一  
 下市中の町……………二六六、三三〇  
 下館……………三〇六  
 下の關……………四一五、四一八  
 下總葛飾郡……………七

十軒店……………三三〇  
 庄内町……………二五七  
 庄内領……………二五七

ス

砂村……………二五九  
 隅田川……………九  
 水國……………五五  
 水府……………五三、一七三、一七七、三九四  
 水門……………九一

セ

關本村……………三二一、三二三  
 瀨高驛……………四四三  
 仙臺……………二五九

ソ

總州小金驛……………六〇

外櫻田門外……………三二八

【タ行】

タ

臺町藥王院……………二九五  
 高松藩……………一三一  
 竹田街道……………一一九、一四九  
 消魂橋……………二九四、二九六、三〇五  
 田町……………三三〇、三三四  
 田谷村……………〇三〇

チ

長州……………六、二三  
 中國……………四一五  
 千代田城……………四、二四、四六五

ツ

土浦……………三三、三三九

土浦藩……………二五七  
土山驛……………四〇〇  
津山……………八一

テ

出羽……………二五九  
天王町……………三〇八

ト

東海道……………二五六、四〇五、四〇七、四一〇  
東海道石薬師驛……………四一〇  
東京……………四六四  
同心町……………二九四  
鳥取藩……………一九八、三一一

【十行】

長崎……………四九八

ナ

中山道……………一一七、三〇九、三九八、四二八、四四一、四四二  
長門……………一六  
長門國萩……………一四  
流山驛……………八六  
長岡……………三三三、三三三、三五七、三三八、三四三、三四四、三四七、  
三五〇、三七五、二八〇、二八一、二八六、二九二、二九三、  
二九六、二九七、三〇四、三五五  
長岡驛……………二二九、三三三、三三三、三三九、二七二、三〇四、三六  
長岡勢……………三四一、三四二、二八七、二八八、二九五、  
二九六、二九八、三〇五、三二八、三三六  
南島……………五七

ニ

錦小路薩邸……………四三一  
新潟……………四六二、四六三  
新潟……………二五九  
新宿……………三三五、三三七、三四四  
日本橋西河岸……………三三五、三三七、三四四  
二本松……………二五九

又

沼津……………四〇五

ノ

能登……………四六二

【八行】

ハ

萩藩廳……………三三  
箱根……………四〇五  
宮根關所……………四〇五  
八町堀……………三九七  
馬場先門……………三七三  
濱田藩……………一九六

ヒ

肥後……………四六一  
彦根……………三九四、四〇五  
常陸……………四六一、四六三

常陸茨城郡石塚村……………四六三  
常陸國新治郡……………一〇六  
琵琶湖……………四二九  
日比谷……………三六四  
日比谷見附……………三七三

フ

深川……………四六三  
福井藩……………一四  
伏見……………一六、四七〇、四八八、四一〇、四二四、四二八、四三三、四三三  
伏見御假屋……………四二五  
伏見薩摩邸……………四一九、四二二、四三〇、四三二、四三三  
伏見町……………四四一

ホ

北陸道……………一六  
細谷渡船場……………三二〇  
堀村……………三六一

【マ行】

マ

眞壁……………三二、三三  
 松戸驛……………六九、七〇  
 萬年樋……………三五二

ミ

三田……………三二五、三三三、三四一  
 水戸……………九、一三、一五、一九、三三、三四、三五、五〇、五二、五四、五五、  
 六一、六九、七三、七五、八四、八六、八八、九〇、九四、九六、  
 九九、一〇〇、一〇五、一〇七、一〇八、一一一、一一三、一一四、  
 一五七、一六〇、一六二、一六四、一七五、一八二、一八三、一八四、  
 一八五、一八六、一九一、一九三、一九五、一九六、二〇〇、二〇一、  
 二二二、二二四、二二五、二二九、三〇三、三三三、三四五、三四六、  
 三三〇、三三二、三三六、三三七、三三九、三四一、三四五、三四六、  
 二五三、二五四、二六〇、二六一、二七二、二七八、二八四、  
 二八五、三〇五、三二〇、三二六、三二九、三三六、三三五、三四二、  
 三六七、四三〇、四三六、四三八、四六一、四六三  
 水戸表……………四七一  
 水戸城下……………五一、二九四、二九五  
 水戸下市仲の町……………三二〇

メ

水戸勢……………四三  
 水戸藩……………一一〇、一七一  
 水戸藩邸……………九七  
 南品川……………二五六  
 水俣……………四六一  
 南見附……………二八九  
 南見附御門外柵御門……………二八八  
 宮……………四〇五

モ

米利堅……………二五〇  
 茂手木宿……………四三八

【ヤ行】

ヤ

藥王院……………二九六

矢古田……………二五九

野州……………三三〇

柳原新地……………二五七

八幡……………七一、七二、九五、九九、一〇一、一〇四、一〇九

八幡宿……………三一五

八幡町……………一〇〇、一〇三、一〇七

山科街道……………一四九

山田原……………四九七

八代洲河岸……………三七二、三八三、三九六、三九七

ユ

結城……………三二三

ヨ

横濱……………二六七

吉原田町……………三三五

四谷豊倉樓……………二一九

四日市驛……………四〇五、四〇八、四一〇、四三三

淀川……………四三八

米澤……………二五九

【ラ行】

リ

龍泉寺町……………三三五、三四四

【ワ行】

ワ

王子町……………三二四

昭和八年八月十日印刷  
昭和八年八月十五日發行

近世日本櫻田事變並製  
國民史

定價金貳圓五拾錢



著者 德富猪一郎

東京市神田區錦町一丁目十番地

發行兼印刷者 三樹退三

東京市神田區錦町一丁目十番地  
民友社

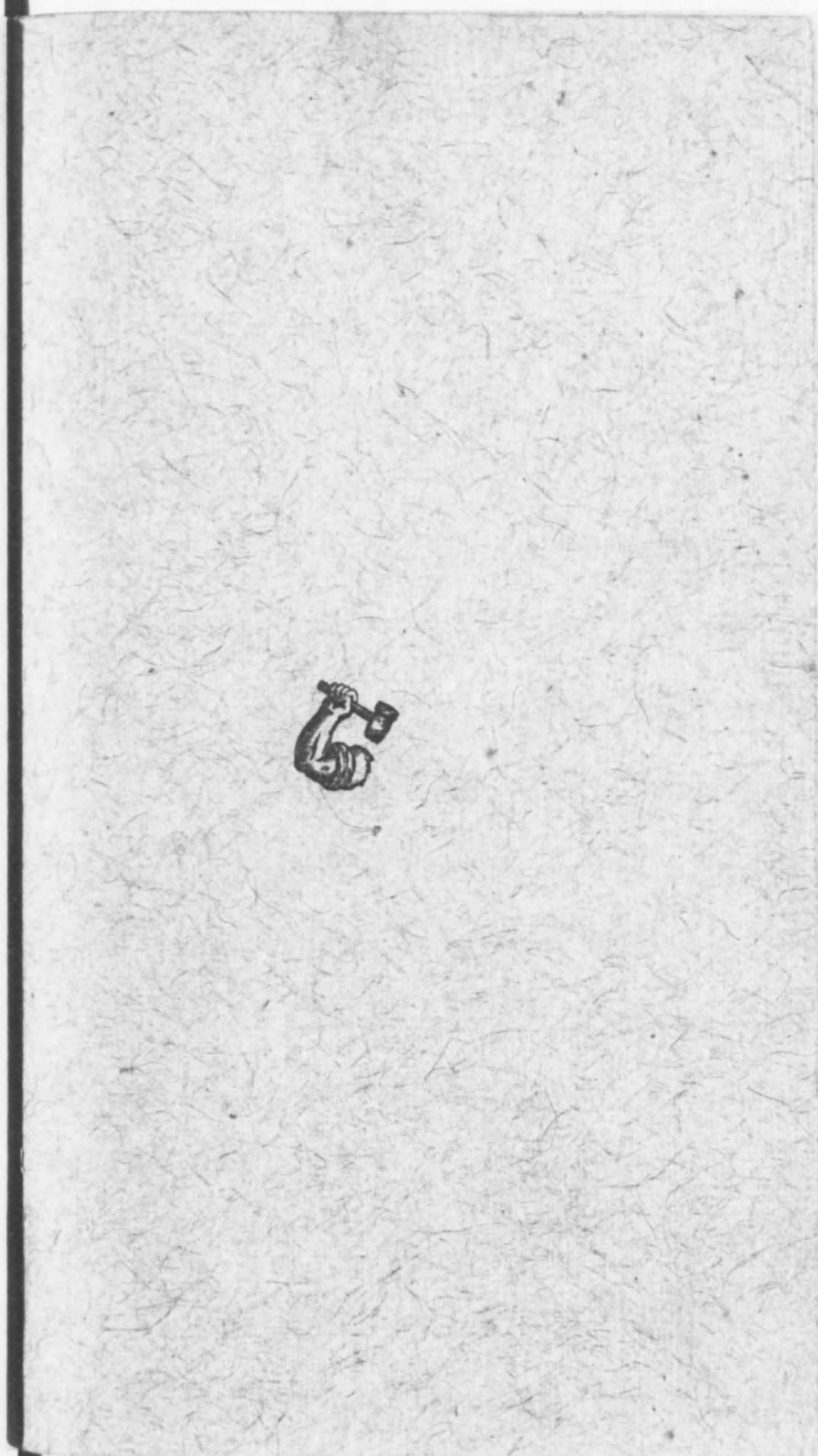
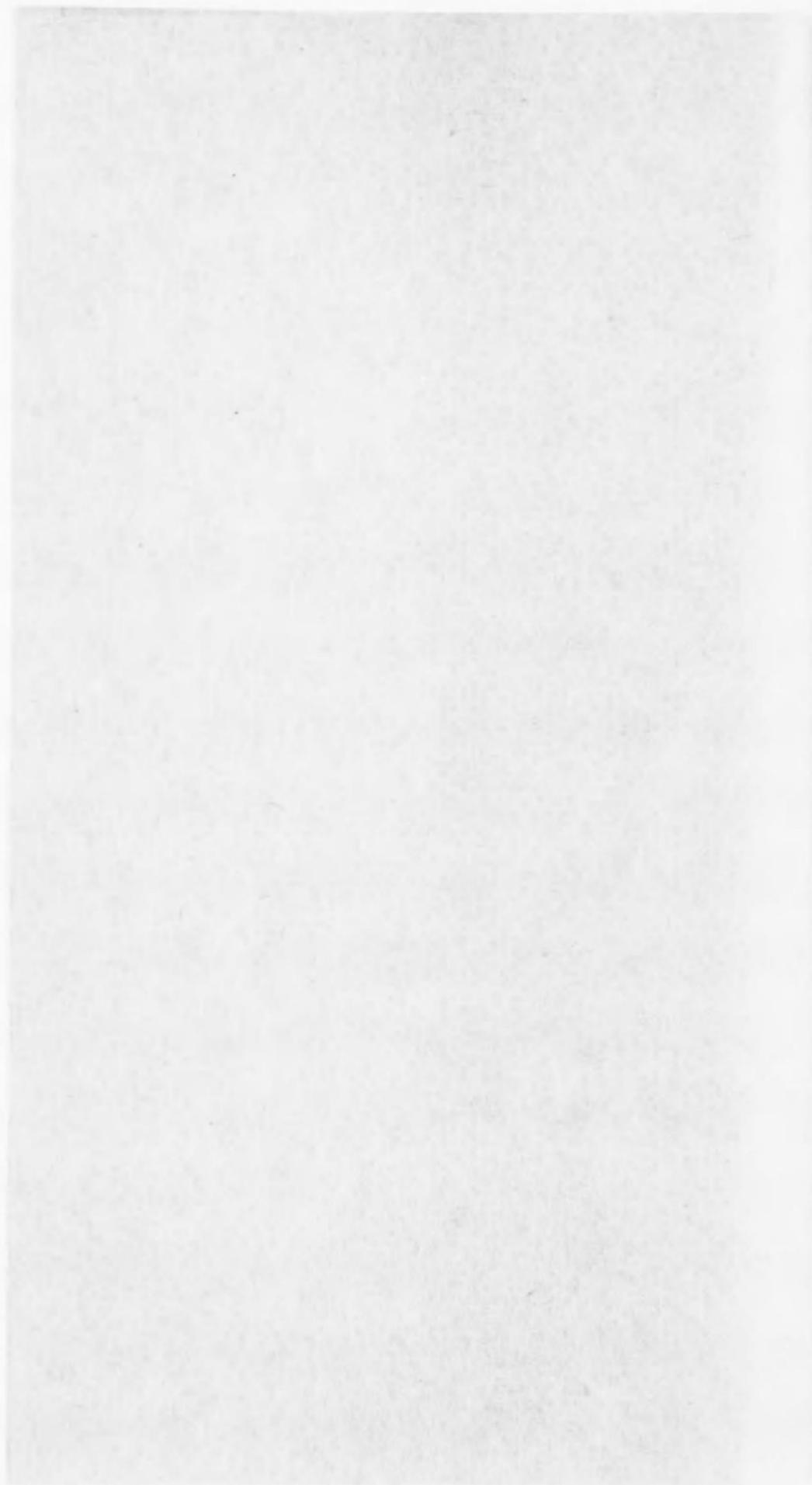
發賣所

東京市神田區錦町一丁目十番地

株式會社 明治書院

電話神田(25)一四一四番  
振替東京四九九一番

東京銀座・民友社印刷所印刷



終